北陸の建設技術

GONTENTS

2020 **4** VOL. 346



■東海北陸自動車道 付加車線設置事業 上原橋

東海北陸自動車道 白川郷IC〜小矢部砺波JCT間の暫定2車線区間のサービス向上(安全性、走行性の確保)を目的に付加車線設置事業を実施しています。お客さまに安全・安心に高速道路をご利用いただけるように事業を進めてまいります。

【撮影日 2020年1月

視点

| 忘れられがちな緑化技術

■東日本高速道路(株)新潟支社 技術審査役 簗瀬 知史

トピックス

令和元年度 北陸地方整備局 災害対応功労者感謝状贈呈式及び 災害対策関係功労者表彰式の開催

■北陸地方整備局 企画部・防災部

地域の動き

八尾の街並みに調和し、旧町の玄関口として期待感を抱く橋

5 国道472号(十三石橋)架替事業について

■富山県富山土木センター

技術レポート

お客さまが安心してご利用できる高速道路へ

7 上信越自動車道 信濃町IC〜上越JCT間の4車線化事業

■東日本高速道路(株) 新潟支社 技術部

11 制約諸条件を踏まえた安全管理及び施工管理の工夫について

■米澤工業(株)

作業中の来襲波浪をリアルタイムに計測・警報するシステム

15 | 浮標画像追跡システム『i-ByTs』(アイ・バイツ)

■東洋建設(株) 土木事業本部 総合技術研究所 鳴尾研究所 山野 貴司

シリーズ 現場技術者の「知得

19 令和2年度 積算基準等の改定概要について ■北陸地方整備局 企画部





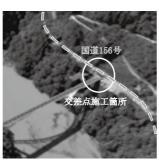
長野会場における受賞者 (協会・建設業者) ▶P.3



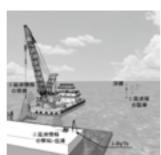
十三石橋開通式の様子▶P.5



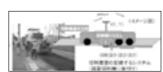
工事完成式典 ▶ P.7



交差点部工事概要図▶P.11



i-ByTs利用イメージ▶P.15



切削オーバーレイエ(ICT) のイメージ▶P.19

職場紹介

顧客に安心感を与え、社会に貢献する企業集団を目指す **23** 愛するふるさとを守るための技術が、ここにある ■(株)カネカ建設

先輩なう!

95 この仕事ならではのやりがい

■(株)カネカ建設 土木部 阿部 康星さん

新技術情報

■Made in 新潟 新技術普及・活用制度

27 · 水替作業を省力化する仮設組立水路

【登録番号:2019D101】 北日本建材リース(株)

・任意深度定着型仮締切り工法

【登録番号:2019D205】 第一建設工業(株)

・プレキャストコンクリート版によるトンネルインバート

【登録番号:2019D206】 日本サミコン(株)

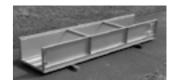
・小規模雪崩及び崩落雪対応防護棚(Dsガード) 【登録番号:2019D207】 日本サミコン(株)



第一上田小学校(南魚沼市) ▶P.23



阿部 康星さん ▶ P.25



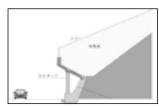
水替作業を省力化する 仮設組立水路 ▶ P.27



任意深度定着型仮締切り工法 ▶P.27



プレキャストコンクリート版に よるトンネルインバート▶P.27



小規模雪崩及び崩落雪対応防護棚 (Dsガード) ▶P.27

「北陸の建設技術」への意見、ご感想が ありましたらお聞かせください。 E-mail:hokugi@hrr.mlit.go.jp

i-Construction

「i-Construction (アイ・コンストラクション)」とは?

国土交通省では、建設現場で働く労働者一人一人の生産性を向上させ、魅力ある建設現場を実現する「i-Construction」の取り組みを進めています。

「i-Construction」は、"ICT 技術の全面的な活用"、"規格の標準化"、"施工時期の平準化"等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセスの最適化を図り、もって魅力ある建設現場を目指す取り組みです。

本誌では「i-Construction (アイ・コンストラクション)」に関連する取り組みや建設 現場などの記事を読者の皆様にわかりやすく知って頂くために、当該記事に上記ロゴを表示しています。

※このロゴは平成30年6月1日に国土交通省が決定したロゴです。建設業界はもちろん、 業界を超えて社会全体から応援される取り組みへと「深化」するシンボルとなっています。